

# 那珂市議会だより

Naka City Assembly News



No.25

平成22年7月29日発行

額田城跡を視察する教育厚生常任委員会



## 平成22年那珂市議会第2回定例会

議決した主な議案等	2ページ
委員会レポート	4ページ
市政を問う 10議員が一般質問	5ページ
請願・陳情の審査結果	11ページ
第3回定例会開会予定	12ページ

発行／那珂市議会

編集／議会広報編集委員会

〒311-0192 茨城県那珂市福田1819-5

TEL 029(298)1111(代表)

FAX 029(298)6287

MAIL gikai@city.naka.lg.jp

URL <http://www.naka.lg.jp/>

# 小児マル福の受給対象者を拡大

## 予算繰越、補正予算など承認・可決



ふれあいセンターごだいのペタンク場

小児マル福の受給対象者を9歳まで拡大  
茨城県医療福祉対策要綱及び医療福祉対策実施要領の一部が、改正されたことに伴い、小児マル福の受給対象者を「6歳から9歳に達する日以後の最初の3月31日」まで拡大するものです。  
なお、この改正に伴い学齢児童等の受給対象者の範囲を「9歳から15歳に達する日以後

### 条例改正

の最初の3月31日」までに改めました。この条例は10月1日から施行されます。

#### ペタンク場を整備

ふれあいセンターごだいにペタンク場を整備しました。  
使用料を徴収するため条例の一部を改正しました。

### 人権擁護委員を推薦



海野 崇 氏  
(門 部)



小笠原 純生 氏  
(瓜 連)



吉野 四郎 氏  
(鴻 巣)

那珂市固定資産評価審査委員会の委員の選任に同意

### 人事

### 平成22年第2回定例会

(6月1日～6月11日)

6月1日 本会議  
(閉会中の委員会報告など)

6月2日 本会議  
(議案の審議・議決など)

6月3日 総務生活常任委員会  
産業建設常任委員会

6月4日 教育厚生常任委員会

6月7日 本会議  
(一般質問 4名)

6月8日 本会議  
(一般質問 3名)

6月9日 本会議  
(一般質問 3名)

6月11日 本会議  
(委員長報告、その他議案)

### 議案件数と結果

市長提出議案 (23件)

条例関係 10件 (すべて可決)

予算関係 7件 (すべて可決)

その他議案 6件 (すべて承認・可決・同意)

議員提出議案 (2件)

委員会報告 1件 (4ページ参照)

意見書 1件 (可決)

その他議案

請願・陳情 3件 (10、11ページ参照)

## 契 約

### 額田小学校耐震補強工事（第2期）

契約金額 1億5,645万円  
 契約相手 茨城県日立市多賀町2丁目10-7  
 株式会社岡部工務店  
 代表取締役 小林 博  
 契約方法 一般競争入札による契約

### 救助工作車購入

契約金額 1億2万1,634円  
 契約相手 東京都中央区日本橋2丁目5番13  
 帝商株式会社  
 代表取締役 毛利 哲  
 契約方法 指名競争入札による契約

### 鴻巣地区農業集落排水処理施設

#### 機械電気設備工事

契約金額 1億7,640万円  
 契約相手 茨城県水戸市石川1丁目4045番5  
 株式会社 ヤマト 茨城営業所  
 所長 萩野谷 和宏  
 契約方法 一般競争入札による契約

## 予 算 繰 越

### 平成21年度から平成22年度へ予算を繰越

#### ◎平成21年度一般会計繰越明許費繰越

協働のまちづくり推進事業	8,659万5千円
学童保育事業	500万円
子ども手当支給事務費	661万8千円
民間保育園建設費補助事業	8,862万6千円
土地改良基盤整備事業	7,616万円
清水洞の上整備事業	1,050万円
道路維持補修事業	4,413万円
道路改良舗装事業	1,400万円
市営住宅管理事業	3,617万6千円
防災無線管理事業	856万5千円
常備消防車両整備事業	1億2,202万3千円
消防団車両整備事業	644万9千円
消防団詰所整備事業	1,446万1千円
小学校施設整備事業	821万1千円
理科教育設備整備事業(小学校)	1,235万9千円
額田小学校耐震補強事業	2億365万円
芳野小学校耐震補強事業	1億1,398万7千円
理科教育設備整備事業(中学校)	551万3千円
第三中学校耐震補強事業	1,560万円
瓜連中学校耐震補強事業	4,272万9千円
公民館施設整備事業	8,620万円
合 計	10億755万2千円

◎平成21年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越  
 那珂久慈流域下水道事業 29万8千円

◎平成21年度上菅谷駅前地区土地区画整理事業  
 特別会計繰越明許費繰越  
 区画整理事業費 3,690万円

## 補 正 予 算

平成22年度補正予算4件（増4,053万7千円）を原案のとおり可決

#### ▼一般会計（第1号）

2,447万9千円の増額→  
 総額167億9,024万7千円  
 老人保健特別会計繰出金

#### ▼老人保健特別会計

3,027万7千円の増額→  
 総額362万7千円  
 医療給付費

#### ▼一般会計（第2号）

3,447万9千円の増額→  
 総額168億2,472万6千円  
 医療福祉扶助事業など

#### ▼国民健康保険特別会計（事業勘定）

2,784万4千円の増額→  
 総額52億6,478万4千円  
 老人保健医療拠出金

# 原子力安全対策特別委員会

## 調査事項

- 1 住民の安全確保に関する事項
- 2 周辺的环境保全に関する事項
- 3 原子力安全協定に関する事項
- 4 核融合研究施設に関する事項
- 5 その他関連する事項

### 継続調査

#### 3 事業所の事業計画

市内の原子力事業3事業所（三菱マテリアル株式会社那珂エネルギ―開発研究所、日本原子力研究開発機構那珂核融合研究所、三菱原子燃料株式会社）より平成22年度の主要事業計画等について、説明を求め審議を行いました。

主な審議内容は、原子力事業所の年間主要事業計画については、新規事業について質疑が行われ、万全な安全対策に努めるよう意見が出されました。

#### 抗議活動

原子力関連事業所の多発する事故・トラブルに関する抗議活動については、4月21日、正副議長、正副委員長において、JCOの臨界事故から10年が経過

し事故を風化させないためにも、安全管理体制の強化と再発防止策に全力で取り組むことを強く求め、抗議活動等を実施しました。

#### 気体廃棄物の放出状況

原子力安全協定に基づき、平成21年度第4四半期（1月1日から3月31日）における気体廃棄物の放出状況については、すべての事業所において放出管理目標値を下回っていたことを確認しました。

#### JT-60の改修現場を視察

当委員会では、4月12日、日本原子力研究開発機構那珂核融合研究所において、改修中のJT-60の現場を視察しました。



委員会での審議



日本原子力研究開発機構に抗議文を提出

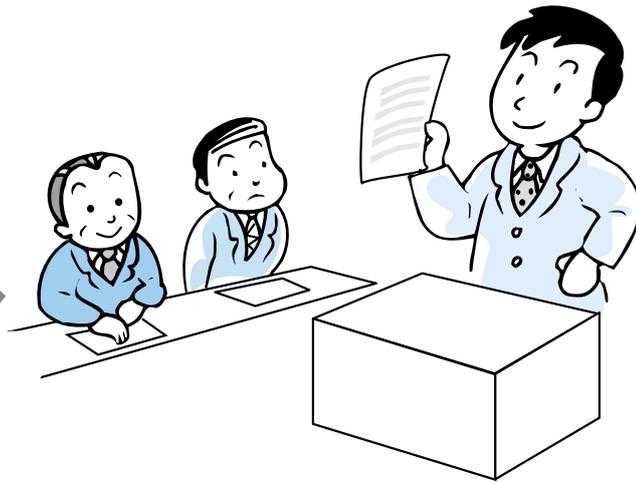


JT-60改修現場を視察

# 市政を問う

10人の議員が登壇し、  
様々な視点から  
市政を問いました。

Q  
&  
A



## 公有財産の効率的運用を

### 良好な土地利用に努めたい

市有財産である山林等が管理放棄され、荒廃した状況である。古徳地区の市有林を、瓜連の小学校において児童、生徒が実際に自然を体験する教育の場として学校林活動を行うなど、山林の有効活用と保全を図る考えは。

また、額田城跡の森林保全を図る観点から額田小においても緑の少年団の結成又は、学校林活動等の取り組みについての質問に対し学校の自主的判断に任せたいとの次長答弁だが、各学校への学校林活動の情報提供が行われていない状況下において何故、学校の自主的判断に任せたいと答弁されたのか伺います。

また、サーボ跡地の効率的運用について伺います。



古徳地区の市有林

#### 質問事項

- 1 公有財産（山林、雑種地、原野、宅地）等の維持管理及び土地利用状況並びに今後の有効活用計画について



石川利秋 議員

企業誘致(働く場の確保)は

分譲価格引下げを県と協議したい

福祉や教育の充実、生活環境の整備実現には財源が不可欠です。また働く場の確保は若者を中心に切実な問題となっており、これらの解決に即効性があるのは企業誘致です。

市のこれまでの取り組みは。また今年度より職員が1名減ったが従来の活動ができるのか。併せて市民からの情報提供を促したり、

企業が立地する際の優遇制度の見直し、セールスポイント作りなど積極的対応を望みます。

産業部長 市内には那珂西部工業団地に1区画5ha、旧サーボ跡地2ha、民有地で向山工専地区に7haの未利用地があり、昨年は208社の訪問活動でした。専任職員の減った分はグループ制の導入等で対応したい。市民からの情報提供



那珂西部工業団地の空き区画

は那珂ふるさと大使の活用等検討していきます。市独自の優遇制度は現在3年間の固定資産税免除を行っていますが先進事例等を参考に調査します。

**質問事項**

1 企業誘致(働く場の確保)について



先崎 光 議員

ドクターヘリで救命率のアップを

医療機関への迅速な収容が可能

茨城県は医師や看護師を搭乗させ、負傷者や患者の救急搬送を行うドクターヘリを7月から運航開始します。

県央の2つの医療機関を拠点に、県内全域を約30分でカバーします。これによって、救急現場にいち早く救急専門医を送り込み、高度な医療機関への迅速な収容が可能となり、重症救急患者の死亡率の向上が期待されます。

そこで次の3点を伺います。

① 一般の住民の通報により、ドクターヘリの出動が必要と判断されれば積極的に要請してくれるのか。

② 出動、搬送にかかる費用については傷病者の負担になるのか。

③ ドクターヘリの自治体負担と維持管理費はどうなっているのか。



茨城県のドクターヘリコプター

消防長 ①ドクターヘリ運航基準に基づき積極的に要請します。

②出動、搬送の費用は無料だが、治療費は保険診察の範囲内で請求されます。

③自治体の負担はないが、年間の維持管理費約1億5千万円は、国費及び県費からの負担となります。

**質問事項**

1 救急医療体制の充実について

2 ペットの管理と共生について



笹島 猛 議員

国保の資格証明書発行はやめよ

国保運営協議会に諮っていききたい

国民健康保険では、高過ぎる保険税と無慈悲な保険証の取り上げが大問題になっていきます。保険証がないために病状が悪化し、病院にかかった時には手遅れで亡くなった例も増えています。

那珂市の資格証明書発行は茨城県では10番目に多くなっています。県内でも大洗町、境町、五霞町、坂東市、かずみがうら市など5つの自治体では、資格証明書を発行していません。

国民健康保険法には、「保険者は、条例又は規約の定めるところにより、特別な理由がある者に対し保険料を減免し、又はその徴収を猶予することができます」となっています。那珂市も国保法の特別な理由を利用して、保険証取り上げとなる資格証明書の発行は中

止してはどうか伺います。

市長 今議員から、常陸大宮市の減免の例が出ましたが、常陸大宮市の方へ行つて、内容を十分聞いて、那珂市もそのような対応ができると思うので、国保運営協議会に諮って万全な体制をしていきたいと考えています。



木村静枝 議員

常陸大宮市の減免対象者

- 1) 震災、風水害、火災その他これに類する不慮の災害により、住宅、家財その他の財産について著しい損害を受けたことにより、生活が困難になったとき。
- 2) 解雇（自己の責めに帰すべき事由による解雇を除く。）により失業したとき。
- 3) 自営業者等が倒産、破産、廃業による事業の休廃止、事業における著しい損失により収入が著しく減少したとき。
- 4) 急な疾病又は負傷により、入院の初日から継続して90日を超える長期入院並びに自宅療養又は継続した治療が必要になったことにより就労できず、収入が著しく減少したとき。
- 5) 天候不順による農作物等の不作、その他これに類する被害により収入が著しく減少したとき。

質問事項

- 1 国民健康保険加入者全員に保険証の交付を
- 2 「心の相談」の拡充を

観光振興計画の策定を早急に

県の計画などを参考に策定する

国は人口減の今後、観光が経済や地域の活性化に大きな影響を及ぼすと観光立国を目指し、外国人旅行者の増加を図る振興策に取り組んでいます。茨城県も平成18年に観光振興計画をつくり、水戸ひたち観光圏を整備し、観光地としてイメージアップを図っています。

那珂市でも平成20・21年度に観光振興懇話会を開きましたが、その内容を伺います。市内でも様々な団体で観光振興の気運が高まっています。観光をまちおこしの一つとして、早急に振興計画をつくるべきと考えますが、如何かお伺いします。

産業部長 茨城大学教授、旅行会社、料理研究家、県観光物産課などの方々が、その現状や課題について話し合い、今後の方向性に

ついて交流の魅力・拠点・人・組織づくりの4つの柱をたて、具体的なプロジェクトや事業内容を提案しています。

市長 茨城県観光振興計画や観光振興懇話会の報告書を参考に那珂市観光振興計画を策定してまいります。



蝦名純子 議員

質問事項

- 1 男女共同参画について
- 2 観光振興について



八重桜まつりの様子

道の駅検討委員会構成メンバーは

22名の委員で基礎調査を検討する

活力ある産業振興の拠点施設一例として、5月20日の全員協議会において予算執行が合意された、瓜連支所付属庁舎等を活用する道の駅整備計画が、遅れ馳せながらやっと動き出した。道の駅整備に取り組み意義と理念について、副市長にお尋ねする。また、道の駅整備調査検討委員会の構成メンバー等について、産業部長に伺う。

あると考える。産業部長 構成メンバーは、有識者、関係団体代表、県と市の関係部署代表、議会代表等22名で検討していく考えだ。検討内容が基礎調査であるため、一般公募は見送る事とした。

副市長 地方分権時代において市町村間競争に生き残るためには、様々な産業振興方を如何に講じるにかかっている。道の駅は、農産物や特産品の販路拡大、農商業の振興や観光資源など、広く県内外にPRや情報発信のできる地域振興施設として、活性化に寄与するものと考えている。県と市が一体となって整備する必要が



道の駅検討委員会で審議される瓜連支所周辺

質問事項

- 1 子供手当について
- 2 未登記問題について
- 3 活力ある産業振興について
- 4 国際交流20周年事業について



海野 徹 議員

農業機械補助事業の見直しを

補助金申請の動向を見ながら判断

農業機械に対する補助金は、840万円計上されていますが、大型機械、耕作面積等条件付きとなりハードルが高くなっています。農道整備がされていない狭い道路、集約されていない飛び地の現状では、大規模経営が困難であり、容易に借り手が見つかりません。耕作放棄の大きな原因になっていると思います。一人でも多くの担い手を育成する為、税金の公平な使い道からも、条件の撤廃、見直し、又、共同購入も補助対象にならないか伺います。

が、今後補助金申請の動向を見ながら判断していきたいと思っております。

産業部長 本市で行っている農業機械補助は、認定農業者等の個人が規模拡大をすることにより、安定的な農業経営を行うための支援であり、現在のところ要件を変更する事は困難であると思えます



狭い農道と耕作放棄地

質問事項

- 1 農業問題について
- 2 過疎化対策について



中庭正一 議員

子宮頸がんワクチン公費助成を

中学3年生を対象に全額助成

子宮頸がん予防ワクチンについては、昨年10月承認され、同12月から販売されたが半年間で3回の接種が必要

のうえ、費用が4万から6万円と高額なことから、諸外国では公費助成で接種を行っております。ワクチンの接種効果は、子宮がんの予防だけでなく、12歳の女子に接種した場合、がんの発患者数、死亡者数を共に約73パーセントも減らすことができ、接種費用より医療費の抑制効果が大きいとされており、当市においても是非とも公費助成を早急に実施を。

市長 将来にわたり効果が期待できると考えており、中学3年生を対象に、ワクチン接種に対する全額助成を実施したいと考えています。

市長 将来にわたり効果が期待できると考えており、中学3年生を対象に、ワクチン接種に対する全額助成を実施したいと考えています。

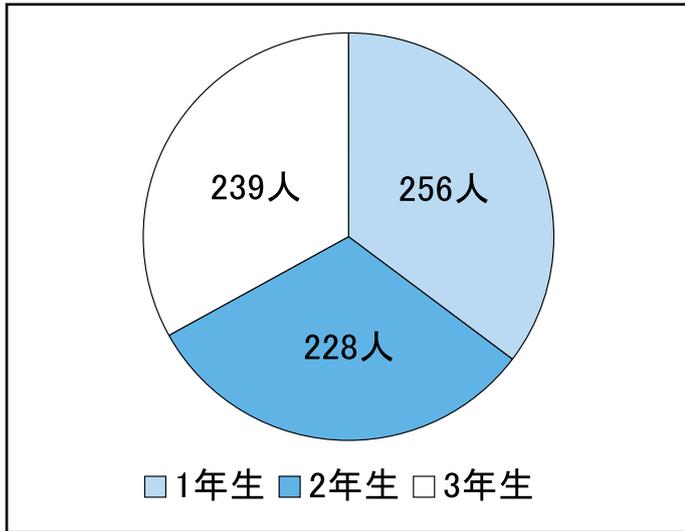


小沼博恭 議員

質問事項

- 1 教育行政について
- 2 保健福祉行政について

保健福祉部長 子宮頸がんは、がんの中で唯一予防できるがんと言われており、女性をがんから守るという点では少子化対策にもつながり、医療面で、年々増加する医療費の削減



那珂市内の中学生女子人数

額田城跡の整備計画を早期に

早期に整備計画を策定推進する

額田城跡は、中世の城跡として、規模の大きさ、城跡が昔のまま残っている大変価値のある城跡と高い評価を受けています。現在、7年前に、額田城跡保存会が結成され、会員の方々が毎月1回の奉仕作業をして、だいぶ整備がなされました。しかし、月1回の作業では、まだまだ整備が不十分です。最近では、バスなどで見学に来る人達も増えて来ています。そこで、駐車場やトイレの設置。三の丸から本丸へ行くアークセスをどうするのか。お伺いいたします。

史的財産として保存し、後世に伝えていくことは、市の責務であると考えています。地域の方々と連携を図りながら歴史資産の整備を図ることが重要であると考えています。早期に整備を図るための計画の策定を進めます。



萩谷俊行 議員

質問事項

- 1 額田城跡の整備と観光について
- 2 国旗掲揚の啓発について

教育次長 額田地区まちづくりの拠点施設に、見学者が利用できる駐車場と外部トイレの整備を図ります。アークセスは、現状を維持、保存しながら整備を図っていききたい。



保存会による整備の様子

市長

市の大切な歴史

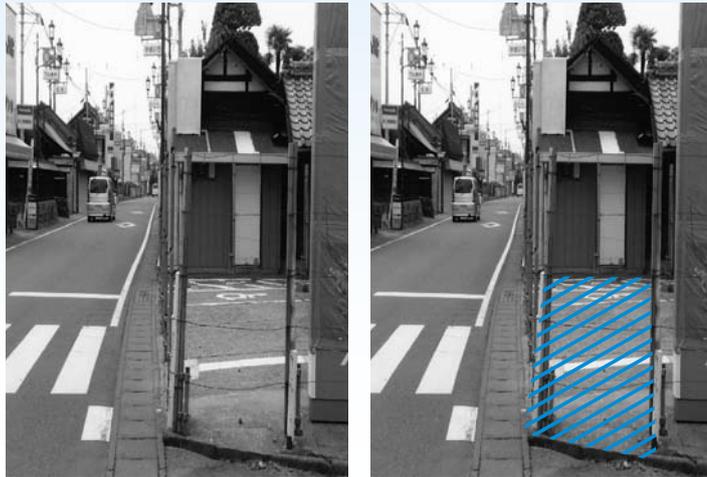
瓜連郵便局跡地の有効利用と現状

更地化と安全性重視で要望申請中

瓜連支所へ入居され8ヶ月が経過し、駐車場も広くなり便利になったという声を聞いています。しかし、跡地については、今だ有効利用が図られておらず、郵便局株式会社から跡地利用について市に相談されているのか。また、それに伴い旧市街地が活性化されるような事業者が入居されるよう要望されています。どうか。また、跡地は道路に面し、鉄線が張られ建物を囲んでおり、特に子供達の通学路であり、待機する場所もなく大変危険な状態です。早急にこの鉄線を取り払いセツトバックして安全に通学できるように要望します。

部手続きにより更地化が遅れているようですが、できるだけ早く処分するよう要望しています。また敷地境界に設置してある鉄線については、通学などの安全確保のため、セツトバックを早急に実施されるよう働きかけをしてまいります。

副市長 郵便局株式会社において建物の取り壊しを行い、更地化して公募により処分すると聞いています。内



鉄線の取払い前（左）と取払い後（右）

質問事項

- 1 地域の活性化について
- 2 特別交付金について



君嶋寿男 議員

陳情の審査結果

額田城跡の整備に関する陳情

額田城跡は、観光的視点からではなく歴史的視点から現状保存を基調としているが、地域住民との意識にずれがあるため、それを埋めるための話し合いが必要との意見が出されました。

また、早急に整備計画を作成し、市と地域住民と連携し、地域の協力を得ながら整備していく事が望ましいとの意見が出されました。

採決の結果、全員異議なく、採択すべきものと決定しました。

(教育厚生常任委員会)

陳情者

那珂市額田北郷13  
額田城跡保存会  
役員 原 公 史 外688名

採 択

農業農村整備事業の予算確保に関する陳情

現在、那珂市内において4地区で農村農業整備事業が進められており、平成23年度からは新規事業も予定されています。しかし、国の予算削減により期間内での事業完了は厳しく、事業期間の延長が予想されています。

農業生産を活性化するためには、那珂市全体の農村農業整備事業が事業完了できるよう予算の確保について国に意見書を出すべきであるとの意見が出されました。

採決の結果、全員異議なく、採択すべきものと決定しました。

(産業建設常任委員会)

陳情者

那珂市額田東郷1350  
有ヶ池江下土地改良区  
理事長 関 宗 長

採 択

## 意見書を提出

1件の意見書を議決し、関係機関へ提出

### 農業農村整備事業予算の確保に関する意見書

(意見書要旨)

昨今の農業農村をめぐる情勢は、食料自給率の低下等、様々な課題に直面しております。

しかしながら、平成22年度国の当初予算では、土地改良事業予算が前年度比約3分の1と大幅に削減され、強い危機感を抱いております。

当市においては、南酒出地区かんがい排水事業、有ヶ池地区経営体育成基盤整備事業、芳野地区農村振興総合整備事業、下坏地区排水対策特別事業の各種県営事業を実施しており今後、新規事業として有ヶ池地区排水路整備事業を予定しております。

また、鴻巣地区農業集落排水事業の団体営事業も実施しております。

よって、このような地域の実情を踏まえ、次の事項について措置されるよう強く要望します。

- 1 大幅な削減となった農業農村整備事業については、予算の復元により、現在進められている事業や今後新たにに取り組む事業が計画通り実施できるようにすること。

#### 意見書提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣  
総務大臣、財務大臣、農林水産大臣

## 請願の審査結果

### 地上デジタル放送受信環境の維持に関して 那珂市の支援を求める請願

静北城地区テレビ共同受信組合で使用している共聴施設の維持管理費の半額について、市の負担を求めるものです。

平成33年までの維持管理の一部を、東京電力から支援されており、市から補助を受けると二重の支援を受けることになる。市内では外にも地形の影響によりデジタル受信が困難な地域はあるが自己負担でまかなっているのが現状である。公平公正な行政運営や財政が厳しい現状をかんがみ、賛成できないとの意見が出されました。

また、場所を確認し、組合員の声も聞いて慎重に調査すべきであり、当地区への送電線の架線の経緯等や地形上での問題も含め、継続して審査すべきであるとの意見が出されました。

採決の結果、賛成多数により、継続審査とすべきものと決定しました。

(総務生活常任委員会)

#### 請願者

那珂市静1180  
北城地区テレビ共同受信組合  
組合長 先崎 千尋

継続審査

## 広報委員会研修会を実施

那珂市議会広報編集委員会では市民に親しまれ、読みやすい議会だよりの編集を目的として、6月16日、株式会社茨城新聞社の編集局長である川上俊也氏を講師に迎えて研修を行いました。

研修の内容は、議会広報の紙面構成やレイアウト、見出しの重要性、写真を撮るポイント、記事の内容や文書の表現についてご指導をいただきました。

今回の研修の成果を十分に活用し、議会だよりの編集発行に取り組んでいきます。



熱心に受講



講師の川上俊也氏

# 議 会 日 誌

4月		5月	
12日	原子力安全対策特別委員会	20日	原子力安全対策特別委員会
15日	広報編集委員会	25日	議会運営委員会
20日	議会運営委員会		
21日	原子力事業所抗議活動		
22日	広報編集委員会		

## 平成22年第3回定例会開会予定

月日	曜	議 事 予 定
9・1	水	本会議 ○開会 ○継続審査・調査案件の委員長報告 ○請願・陳情の委員会付託など
9・2	木	本会議 ○議案審議など
9・3	金	決算特別委員会
9・6	月	決算特別委員会
9・7	火	決算特別委員会
9・8	水	常任委員会
9・9	木	常任委員会
9・13	月	本会議（一般質問）
9・14	火	本会議（一般質問）
9・15	水	本会議（一般質問）
9・17	金	本会議 ○委員長報告など ○閉会

この会期日程は、議案件数や一般質問者数によって変更になる場合があります。

日程の変更や詳細については、議会事務局や議会ホームページでもご案内しています。お気軽にお電話、お立ち寄りください。

また、**請願・陳情を議会へ提出される場合は、8月20日(金)まで**にお願いします。

## 議会の傍聴について

那珂市議会では、議会の本会議・常任委員会を公開しています。

傍聴をご希望のかたは、事前に会議の開催日や時間をご確認の上、おいでください。傍聴の手続きは、所定の用紙に住所・氏名を記入していただき、傍聴券の交付を受けるだけです。お気軽においでください。

**6月定例会の傍聴者数106名（延べ人数）**

下記の議員が、全国及び茨城県市議会議長会より自治功勞の表彰を受け、6月1日の定例会本会議の開会前に議長より伝達されました。

### <全国市議会議長会表彰者>

【在職15年以上】 中村 健、海野 進  
【在職10年以上】 内山さき子、須藤 博

### <茨城県市議会議長会表彰者>

【在職15年以上】 中村 健、海野 進  
【在職8年以上】 福田耕四郎  
【市議会議長会の発展に尽力】 加藤 直行

表紙に寄せて  
教育厚生常任委員  
会では、額田城跡の  
整備に関する陳情の  
審議を行いました。  
審議の前に、額田  
城跡の現地視察を行  
い、市執行部より現  
状の説明を受けまし  
た。

## 編集後記



蝦名 純子

限られた財源をどう使えば良いかと、所沢市の事業仕分けを調査して来ました。今行われている事業は本当に必要なのか、必要ならば、民間、国・県、市のどこでやるべきか、市でやるとしたら改善が必要ではないかと真剣に話し合われていました。那珂市でも行政評価に外部評価が入りましたが、市民の目線がとても大切です。

### 議会広報編集委員会

委員長 木村 静枝  
副委員長 蝦名 純子  
委員 萩谷 俊行  
委員 海野 徹  
委員 君嶋 俊  
委員 石川 利秋  
委員 石川 利秋